

〔巡検会報告〕

天草郡野牛島・千束蔵々島巡検

熊大・教育 鶴田孝三

52年度の秋の巡検会は、10月23日 田村実先生の御案内で標記のとおり行なわれた。参加者は会員のほか、理科サークルの方々も含め24名。巡検ルートを図-1に示し、野牛島北端の半島部の地質略図を図-2に示す。

野牛島北端は 白岳砂岩層の砂岩より成るが、図-2に示すように、頁岩の薄い層が数枚確認できた。本半島部は、堆積現象を知る数々の手がかりが容易に見つかる。このため、学校における野外観察に適するとともに、マッピングや地質図作成等の簡単な実習にも好都合な場所である。まず、A地点で砂岩の風化の様子を観察した。また、AからB地点にかけての海岸線では、カキの付着している様子を知るための標本を、教材として採集した。B地点では正断層が見られ、反対側のD地点へ続いていることを確認し、断層の撮影をした。また、B及びC地点では、スランプ構造を見ることができた。B付近では、褶曲した地層の本来の上下判定に役立つ底痕を採集した。底痕は、砂を運搬した水流が水底の泥の表面を侵食して、えぐり跡やこすり跡を表わす。堆積物が固化後に露出すると下位の泥岩層は侵食され消失するため堆積時にできたマークが上位の砂岩層の下底部に突出し

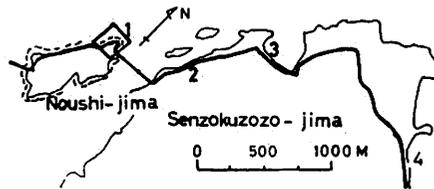


図-1 巡検ルート

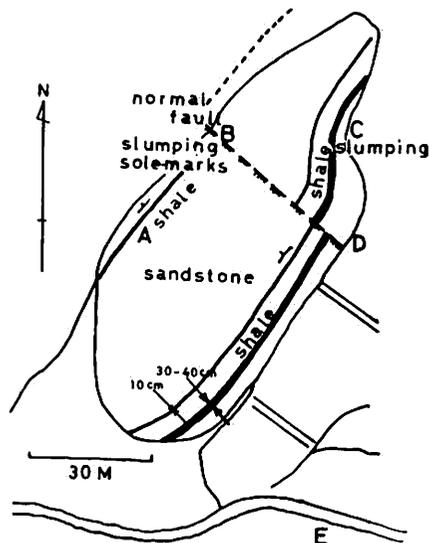


図-2 野牛島北端の地質スケッチ

たキャストとして残ったものである。またB付近で、砂岩頁岩の互層から成る転石を採集した。E地点で、砂管を観察することができた。

野牛島の観察を終え、図-1の2地点では赤崎層と漸移層が断層運動により逆転していることを観察した。3地点で古第三紀赤崎層と白岳砂岩層の漸移層の化石を採集した。4地点では、白亜紀姫浦層群の化石の採集及び

生痕の撮影を行なったが、化石はあまり採集されなかった。

以上のような多様な地質現象を短時間で観察することができ、我々参加者一同、大変勉強になった。御多忙中御指導してくださった田村先生に心から感謝し、巡検会の報告を終わる。